

## 栃木県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と  
主原因3物質（平成27年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 <sup>6</sup> L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	真岡市	13,146,930	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエー テル 13,112,100	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル 18,720	亜鉛の水溶性化合物 6,313
2	さくら市	7,307,858	EPN 7,194,000	チウラムまたはチラム 25,300	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 21,880
3	宇都宮市	3,286,201	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 1,440,000	マンガン及びその化合物 942,136	6価クロム化合物 540,000
4	大田原市	1,295,109	EPN 1,221,000	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 23,960	マンガン及びその化合物 16,250
5	足利市	257,221	マンガン及びその化合物 136,552	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 92,560	亜鉛の水溶性化合物 24,882
6	小山市	238,434	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 116,000	マンガン及びその化合物 105,040	亜鉛の水溶性化合物 12,276